

えさしっ子の未来を拓く10か条

元気なあいさつ 広がる笑顔

あいさつはコミュニケーションの基本です。気持ちの良いあいさつがお互いの関係を良くします。

早寝・早起き 三度の食事

規則正しい睡眠と食事は健康の大もとです。健康が保障されてこそその子どもたちの頑張りです。

授業集中、ていねいな 学びで学力向上

集中して授業に臨むこと、一つ一つの学習にていねいに取り組むことが学力向上のカギです。

「継続は力なり」 家庭学習の習慣化

生活リズムを整え、家庭学習を習慣化することで、学習内容の定着が図れ、学力が向上します。

家庭・学校・地域は 子育ての共同体

それぞれの孤軍奮闘での子育ては大変です。子どもの健やかな成長には、関わる大人の力あわせが必要です。

決まりは 守って当たり前

お互いに気持ちよく生きていくために決まりがあります。だから、決まりは守って当たり前です。

認め合い、 思いやりが 生み出す“和”

誰にでも「優しい心」と「いじめ心」があります。相手を認め、思いやることで和やかな関係が生まれます。

読書で培う 言葉と豊かな心

読書は言葉や知識を増やすことはもちろん、感受性を高め、豊かな心育ちにつながります。

お手伝いが育む ひとり立ちの力

家庭での役割を請け負い、認められることで責任感や進んで働く気持ちを育て、自立心を養います。

会話が つくる 互いの絆

「話せばわかる」は「話さなければ分からない」ということ。絆は会話の数だけ深まります。

時間と節度を 守って使うメディア

いかに自分をコントロールしてメディアを使うかは、現代人に必要な能力です。まずは親子の約束からです。



この10か条はえさしっ子のみなさんが、将来しっかりとした大人になるための“めあて”です。大人に説明してもらい、実行しましょう。



この10か条の実践を通し、子どもたちに、自分の力で未来を切り拓いていく力を、**大人同士**の力あわせで育てていきましょう。

